



「茶の湯」の密室

愛川 晶 著 (原書房)

茶会に招かれた山桜亭馬伝の妻亮子。本格的な席で緊張が先立つなか、亮子はほんの一瞬、そこにいるはずのない猫を見てしまう。話を聞いた馬伝は、その奥にある「謎」を見抜くのだ

下肢静脈瘤・むくみは自分で治せる!

岩井 武尚 著

足の重たさ、黒ずみ、かゆみ、こぶ、こむら返り、ヒリヒリ感...

不快な足のトラブルからこわいエコノミークラス症候群まで、予防&改善法をやさしく解説!

下肢静脈瘤にはさまざまな段階や種類があり、ほとんどの場合、自分で治すことができる。下肢静脈瘤・むくみを自分で治すための症状チェック&簡単セルフケア、日常生活のヒント、頼れる医師の見つけ方などを解説する。

岩井 武尚 著 (学研プラス)



職場の労働トラブル

藤池 尚恵 著 (日本経済新聞出版社)

最低限知っておきたい労働法の基本が楽しく学べるコミックエッセイ。残業代が支給されない、育休明けの異動、派遣先の社員からセクハラ…。職場で遭遇しがちなトラブル事例をマンガで紹介し、対処法を解説する。



まよなかのせんろ

鎌田 歩 著 (アリス館)

マルチプルタイタンパーは、毎晩、電車の走らない真夜中に、線路のゆがみを直す仕事をしています。線路を直すには、どんな作業をするのでしょうか?線路を守る車両、マルチプルタイタンパーの絵本。見返りに車両紹介等あり。

豊山俳句クラブ

青山克己選

高木須磨子 ひとつじ田や村に駐在いたといふ

田村多喜子 水鏡濃きも薄きも紅葉哉

坪井昭子 新そばを打つ人運び来る人と

杉浦みどり 足早に通り過ぎたる初時雨

村上ゆり子 薪積みし山家の土間やすがれ虫

小塚美枝 秋日暮れ山どつしりと茅葺の家

石黒貴代子 吟行や記憶の秋の深まりぬ

豊山歌壇

水野笑子選

水谷弘子 うから皆逝きてしまへり故郷は

水野勝代 開け放つ窓ゆ入り来る清流の

水野恵子 あと一輪ひらけば満開の胡蝶蘭

村上一枝 実り田に群れるスズメの賑やかさ

足止め見るに肥えし影ある

杉本衿子 「見えるら」と囲炉裏端での伊那ことば

坪井径子 茅葺きに秋の薄ら日傾けり

安藤春一 稜線よりも低く輝く柿すだけ

青山とも子 幾度も来し伊那谷や秋の暮れ

水野真弓 大草城址見据へるやうに鷹一羽

谷崎 琴 金木犀ほのかに風にまじるなり

岡島 齋 山の端にすがる夕日や里の秋

青山克己 まだ雪は来ぬかと縄を綱ひをりし

山田 米 初に見る地形のままに蛇行する

異国の大河は忘れ得がたく

渡辺トヨ子 雷の遠く音立つ山あひに

安達洋子 樹樹は静かにたぢろぐことなし

荒川昌枝 犬山の城下をうねり流れゆく

安藤定岳 すつきりと全勝優勝の豪栄道

幼日の思ひ出がふと浮かび来て

一柳千鶴子 堤斜面に生ひある草のやや赤く

朝の真白き月と似合ひぬ

編集後記

新年あけましておめでとうございませう。元日の朝初めて汲む水のことをいう「若水(わかみず)」。水道が普及したためかあまり聞かなくなつたこの言葉。年神様に供え、正月の食事の支度などに使われたそうだが、若水に限らず、正月は特有の言葉や儀式が多くある。邪気を払い魂を若返らせ、未来に永続することを願う意味が込められている。▼今月号で新町長の所信表明をお知らせした。職員一同、気持ち新たに、住みやすく、住み続けたいと思う町を目指していく。▼そのためには、利便性の追求は欠かせない。でも、それだけでは足りない。そこに住む人と人とのつながりも力になる。▼人間関係が希薄になりがちな都心のマンションで、住民どうしの交流を促す取組が出てきている。適度な人間関係が生まれ、住みやすい環境につながるからだ。管理運営の改善や建物の改修など、皆が協力して解決すべき問題解決にも役立つ。小さなコミュニティの機能が見直されている。▼町には先人から受け継いだ伝統・文化、地域の絆が息づく。これらも活かし、住み心地のより良いまちをつくる一年としたい。